半導体用圧力スイッチ
取扱説明書

型番－DHS－B－□－□－□－□－□－□

このたびは、半導体用圧力スイッチをお買い上げいただきありがとうございます。
正しくご使用いただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
また、製品は日々改良されておりますので現品に付属された取扱説明書で
操作を行ってください。なお、本取扱説明書は大切に保管してください。

日本工業規格表示許可工場
株式会社 第一計器製作所
http://www.daiichikeiki.co.jp

本社 工場・〒660-0823・尼崎市大物町1丁目7番-2号
TEL.06(6481)5551(代)　FAX.06(6401)4646
東京営業所・〒140-0013・東京都品川区南大井6-7-9
大森FNビル1階
TEL.03(3768)6761(代)　FAX.03(3768)6663

❑ 1. 使用上の注意

●サージ圧について

サージ圧が圧力スイッチの耐圧を越えると予想される場合は、サージ圧対策を行うか、
圧力スイッチのレンジを変更するかの処置を行ってください。

●圧力スイッチの取付について

VCR1/4(一体構造、メタルガスケット式面シール継手)相当品です。
VCR継手メーカーの取り扱いに準じて取り付けを行ってください。

●ノイズについて

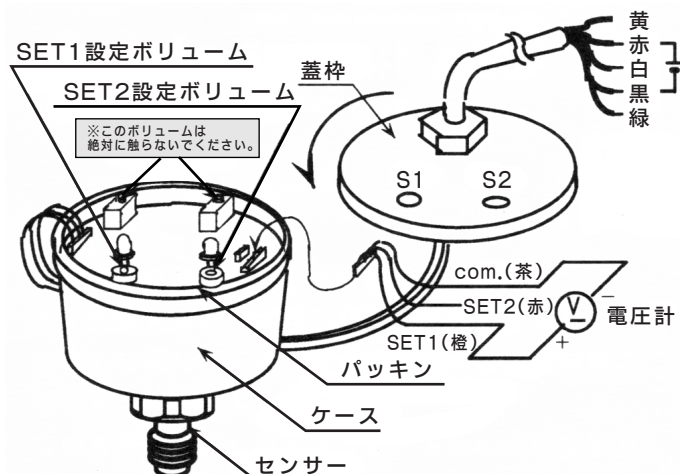
比較出力がチャタリングを起こす場合は、ノイズ影響があると思われますので、
ノイズの発生源を調べ、断ち切る必要があります。ノイズが乗っている電流とは別の電源を
利用したり、ノイズフィルターを入れる方法が有効的です。
また、外部からの誘導ノイズにより、圧力スイッチ・ケーブルの信号に乗ってくることも
ありますので、圧力スイッチ・ケーブルはノイズ源から遠ざけることが必要です。
また、本ケーブルと動力線を束ねたり、同じコンジット管に入れないでください。

❑ 2. 概要

● この圧力スイッチは、耐腐蝕構造の圧力センサエレメントと高精度なアンプ回路及び
アナログ比較回路により構成され、出力はトランジスタオープンコレクタにより
高速でスイッチング出力する超ロング・ライフ型です。

❑ 3. 設定ボリュームの使用方法

●比較判定値の変更方法は以下の手順に従って設定してください。

1. 1mVまで計測出来る電圧計を用意してください。
2. 上図の蓋枠を矢印の方向に左回転(半時計方向)
   させて蓋をはずしてください。
3. 3Pハーネス(オプション)を基板上の3Pコネクタへ
   接続してください。
   (接続時、方向に注意してください。)
4. 3PハーネスのSET1(橙)を電圧計のプラス(+)側へ、
   COM.(茶)を電圧計のマイナス(-)側へ接続してください。
   {SET2の場合は(赤)を電圧計の(+)に接続してください。}
5. この圧力スイッチは圧力スパンを0～2000mVに変換して
   いますので、希望する設定圧力が何mVになるか計算して、
   電圧計の値がその値になるように設定ボリュームを
   回転させます。

❑ 4. 仕様

電　　　　源 ： DC24V（21.6V～26.4V以内）（消費電流約4mA以下）
圧力スパン ： 50,100,200,500kPa
50,100,200,500kPa ads
許容過負荷 ： 300%R.C.
設定出力 ： リレー出力タイプ 1a Ac125V 0.5A（抵抗負荷）
SET1,SET2　2点（ボリューム設定式）
アナログ比較方式、動作確認灯付き
SET1＝設定値≧実圧でリレーON
精　　　　度 ： SET2＝設定値≦実圧でリレーON
仕様湿温度範囲 ： ±0.5%R.C.（25±5℃に対して）
0～70℃（測定媒体温度）85%RH　結露・氷結不可

●型番・仕様・外形図等はカタログ、またはhttp://www.daiichikeiki.co.jpをご覧ください。

❑ 5. 外部接続